

(株)上信観光バス 令和7年度 運輸安全マネジメントの取組み

令和 7年 4月

上信観光バスでは、お客様に「安全・安心・快適」にバスのご利用をいただくには、「すべてにおいて安全が最優先になる」との考えのもと、社長をはじめ経営幹部から乗務員・現場までが一丸となり、それぞれの持ち場において、法令順守を徹底するとともに、さらなる安全性の向上に取り組んでまいります。

1. 輸送の安全に関する基本方針

- (1) 社長は、輸送の安全の確保が事業経営の根幹であることを深く認識し、社内において輸送の安全の確保に主導的な役割を果たす。また、現場における安全に関する声に真摯に耳を傾けるなど、現場の状況を十分に踏まえつつ、社員に対し輸送の安全確保が最も重要であるという認識を徹底させる。
- (2) 輸送の安全に関する計画の「策定(Plan)・実行(Do)・チェック(Check)・改善(Act)」を確実に実施し、安全対策を不断に見直すことにより、絶えず安全性の向上に努める。また、輸送の安全に関する情報については、積極的に公表する。
- (3) 関係法令や規則を確実に遵守し、忠実に職務遂行をおこなう。

2. 令和6年度の事故に関する統計

令和6年度の事故発生件数

◎自動車事故報告規則第2条に規定する事故の件数

・死亡事故	0件
・重傷事故	0件
・運転者の疾病による運行の中断	0件
・車両装置の故障による運行の中断	0件
・乗降口の扉を開閉する操作装置の不適切な操作により、 旅客に傷害が生じたもの	1件 ※乗合1件

◎有責事故の件数

・車外人身	0件
・車内人身	1件 ※乗合1件
・物損(第1当事者)	26件 ※乗合10件、貸切16件
※物損事故のうち、相手が車両以外の事故	23件

3. 行政処分の公表

令和6年度 当社において行政処分はありません。

4. 令和6年度 輸送の安全に関する目標の達成状況

(1) 重大事故の発生0件を継続

○ 達成できております。重要項目につき、今年度も継続項目としています。

(2) 車内人身事故の発生 0 件を目指す

× 未達成です。乗合バスで1件の車内人身事故がありました。
重要項目につき、今年度も継続項目としています。

(3) 有責事故対前年 50%減

× 未達成です。前年に対して有責事故は3件増加となっています。
今年度は対前年の20%減を目標として、継続項目としています。

(4) 適正な点呼記録簿への記録及び口頭による適切な指示

○ 達成できております。これからも適切な記録と指示を継続して行っていきます。

(5) 苦情の件数を対前年 50%減にする

× 未達成です。令和5年度が17件、令和6年度が14件で3件の減少となり18%の減少でした。本年度は20%減を目標に継続項目としています。

令和6年度の安全目標は、5項目のうち2項目の達成となりました。

目標未達の原因は、高い目標値の設定などもありましたが、一部、利用者の立場にたった運転や気配りなどが不足していたことがありました。

今年度は、輸送の安全を最大の責務として、また利用者の立場にたった業務を行っていきたいと思っております。

令和7年度は安全目標を全項目達成できるよう努力してまいります。

5. 令和7年度 輸送の安全に関する目標

- (1) 重大事故の発生0件を継続
- (2) 車内人身事故の発生0件を継続
- (3) 有責事故対前年20%減
- (4) 健康起因事故0件を目指す
- (5) 苦情の件数を対前年20%減にする

6. 旅客のシートベルト着用 100%を目指す取組み

平成20年6月1日施行の改正道路交通法をうけ、当社では旅客のシートベルト着用100%を目指して、以下の取組みを行っております。

- (1) バス車内において、シートベルトの着用をお願いする案内の表示やしおりの用意
- (2) 出発前の挨拶時に、乗務員より口頭でのシートベルト着用案内の励行
- (3) 休憩場所および見学施設出発時に、再度口頭でのシートベルト着用案内の励行

7. 輸送の安全のために講じた措置 および 講じようとする措置

1. 四季の交通安全運動 および 輸送安全総点検実施時に、社長や安全統括管理者による各営業所の巡視をおこない、各営業所の管理者や乗務員との意見交換・情報交換を行いながら、安全意識の向上を図っております。
2. 年間無事故達成者 および デジタルタコグラフ評価の優秀者の表彰制度
3. 乗務員研修の実施
 - (1) 社員集合教育研修
 - ① 外部講師による事故防止に関する教育
 - ② 外部講師による自動車の構造や予防整備・日常点検の実施方法の指導など、自動車の構造や整備に関する教育
 - ③ 外部講師による健康管理の重要性と健康管理のポイントについての教育
 - ④ 経営トップと社員による意見交換・情報交換の実施
 - ⑤ 安全運転指導員による交通事故防止と飲酒運転防止のための留意点についての教育、およびドライブレコーダーの記録を活用したヒヤリハット情報の共用

や、危険の予測および回避についての教育

(2) 安全運転講習

(株)群馬安全教育センター(前橋自動車教習所)および水原自動車教習所において、危険予測と車両感覚の習得を目的とした運転技能チェックを実施するとともに、乗車中の乗客の安全を確保するために留意すべき事項(特に車内転倒事故防止について)や、乗客が乗降するときの安全を確保するために留意すべき事項などの教育の実施

(3) 救命救急講習

安全運転研修実施時に、応急救護措置の必要性や、救命蘇生法の流れと、胸骨圧迫や人工呼吸による心肺蘇生法のやり方についての実技の講習 および AED の構造や使用方法についての実技講習の実施

(4) 雪道(チェーン脱着)および大規模災害発生時等対応訓練

- ① 雪道走行時の対策と安全運行についての教育を実施するとともに、各自チェーン(主にダブルチェーン)着脱訓練の実施
- ② 交通事故発生を想定して、車両を利用した非常口脱出訓練や、高速道路走行時において車両故障や交通事故が発生した際に、二次災害を防止するための現場における車両誘導などの訓練の実施
- ③ 大規模災害や事故・事件が発生した際の乗務員の対応について、それぞれの対応マニュアルをもとに、対応手順の確認を実施

4. 乗務員の健康管理

全従業員を対象に、毎年度7月と2月に健康診断を実施して、各自の健康状態を把握するとともに、健康診断結果をもとにした健康管理についての指導を実施する。また、運転者に対して、SAS(睡眠時無呼吸症候群)の検査を行い、各自の症状や状態を把握することにより、健康起因による事故の発生を未然に防ぐよう努めています。

8. 令和7年度 研修・教育計画

- | | |
|-------------------------|-----------------|
| (1) 損保ジャパン安全ドライバー診断 | (8) 救命救急講習 |
| (2) 安全運転講習 | (9) 車両整備関係 |
| (3) チェーン脱着訓練 | (10) 飲酒運転防止セミナー |
| (4) 運転者適性診断 | (11) 接遇マナー |
| (5) 社員集合教育 | (12) 健康管理 |
| (6) ドライブレコーダーの記録を活用した研修 | など |
| (7) 乗務員実務研修 | |

9. 輸送の安全に関する実績および予算

【令和6年度の実績金額 合計】 5, 036, 037 円

※内訳

(1)	車 両	1, 000, 000円
(2)	設備管理	1, 718, 560円
(3)	教育関連	1, 146, 651円
(4)	健康管理	1, 170, 826円

【令和7年度の予算金額 合計】 26, 824, 000 円

※内訳

(1)	車 両	22, 000, 000円
(2)	設備管理	2, 000, 000円
(3)	教育関連	1, 541, 000円
(4)	健康管理	1, 283, 000円

10. 輸送の安全に関わる内部監査の結果および措置

実施日 令和7年3月25日

監査に基づき講じた措置および講じようとする措置

- ① 今回の監査では、直ちに重大な問題となる事項はないと判断しました。
- ② 毎年の課題であるヒヤリハットの情報収集については、点呼時における運転者からの申し出をもとにドライブレコーダーの映像から収集するなど工夫がみられた。しかしながら、情報の収集量が少なく感じられたため、収集方法を再考して、より多くの情報が収集できるよう工夫していただきたい。

11. 安全統括管理者

代表取締役社長 飯出 瑞生

12. 安全管理規程

当社の安全管理規定は、ホームページへ掲載のとおりです。